

自分の”得意”で大学へ! --京都

大学合格体験記--

私は京都大学の特色入試で経済学部合格しました。試験方法は、高校での学び・大学でやりたいこと・大学卒業後にやりたいことなどを書いた事前提出書類が100点、経済に関する英語と日本語の文章を讀んでいくつかの問いに答える小論文試験が500点、共通テストで8割以上得点すること、というものでした。一般受験の勉強に支障が出るのではないかと考えギリギリまで出願を迷いまし

たが、筆記試験が12月とかなり早い時期に行われること、長い文章を読んだり書いたりすることが得意だったことから出願を決めました。

事前提出書類は必要な枚数が少なくないので多少時間はかかりましたが、元々高校での学びや生活の中で得られたもの、これからやりたいことがはっきりしていたのでスムーズに書くことができました。書類は担任の先生に何度か添削をしていただいて、文章を整えました。私は提出期限の2週間前くらいに出願を決めたので、勉強時間を少し削ることになりましたがもう

少し余裕を持って準備を始めれば
一般受験の勉強などにほとんど影
響を及ぼすことはないと思います。
また、特色入試のような試験方法
への出願を考えている場合は、自
分のこれまでとこれからの学びに
ついてある程度整理しておくとい
います。小論文については
あまり対策できなかったの
で、経済学に関する英単語を覚え
たり、京都大学の現代文の過去問
から出題される文章の傾向や問題
になるポイントを研究し直したりと
いった対策をしました。過去問の
添削指導は受けておらず合格最
低点などの公開もされていないこ

とから、合格発表までとても不安でしたが、自分が得意な試験方法でこれまでとこれからの学びへの評価を受けて第一志望校に合格できたことは非常によかったと思います。

私は数学が苦手だったので教書レベルの基礎から勉強を始め、共通テストや一般受験に間に合うのかという不安があり、模試で結果が出せなかったり問題が解けなかったりするたびに何度も第一志望校を諦めようと思いました。そんなときに担任の先生がよく口にされていた「受験は団体戦」という言葉を聞いて、まわりにも同じように進

路に悩み努力している仲間がいることを思い出し最後まで頑張ることができました。これから受験にむかってゆく皆さんは何度も辛いことを経験すると思いますが、学校の先生や友達と話をしたり励まし合ったりして、辛いこともあったけれど努力してよかったと思える時間にしてもらいたいと思います。そのために一つアドバイスしたいことは、勉強と生活にメリハリをつけることです。学校の図書室、図書館の勉強スペース、塾の自習室など自分が集中できる場所を決めて、勉強は必ずそこでする、そして家に帰ったらだらだら勉強するので

はなくしっかり寝てしっかり休む。
受験は長期戦なので、長い時間あ
まり集中できずに勉強を続けるよ
りも、短時間でしっかり身につけて
ゆく方が効率的だと思います。大
変なことも多いと思いますが、頑
張ってください、応援しています。